

2019年度第3回(一社)日本生物物理学会理事会議事録

日時: 2019年12月14日(土)12:30-16:40

場所: 大阪大学タンパク質研究所 6F リフレッシュルーム・学習院大学南7号館5階セミナー室・

他各地よりPCで参加

出席者: 理事総数 17名 出席理事 14名 (代表理事を含む)

代表理事(会長)	原田 慶恵	理事(副会長)	須藤 雄気
理事(副会長)	小松崎 民樹	理事	秋山 修志
理事	秋山 良	理事	飯野 亮太
理事	大上 雅史	理事	上久保 裕生
理事	小島 清嗣	理事	古寺 哲幸
理事	寺川 剛	理事	西坂 崇之
理事	細川 千絵	理事	村田 武士

監事: 監事総数 2名 出席監事 2名

監事	笹井 理生	監事	豊島 陽子
----	-------	----	-------

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	佐甲 靖志
欧文誌編集委員長	石渡 信一
欧文誌次期編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	宮田 真人
2019年度年会委員長	永井 健治
2020年度年会委員長	大澤 研二
2021年度年会委員長	高橋 聡

陪席者:

会長室	神瀬 麻里子
学会事務局	向井 牧子

議長: 代表理事(会長) 原田 慶恵

議事録作成者: 寺川 剛

**報告事項:**

1. 2019 年度年会報告
  2. 2020 年度年会準備状況
  3. 2021 年度年会準備状況
  4. 出版委員会報告
  5. 男女共同参画・若手支援委員会報告
  6. 生物科学学会連合連絡会報告
  7. 国際関連委員会報告
  8. BREV Special Issue について
  9. 啓発活動報告
  10. 賞・助成金推薦委員会報告
  11. 地区報告
- その他

**審議事項:**

1. 会誌編集委員会規約の改定
  2. 2020・21 年会誌編集委員・編集副委員長の承認
  3. 次期 BPPB 編集委員の承認
  4. 2020 年分野別専門委員の承認
  5. 2020 年度事業計画(案)
  6. 2020 年度予算(原案)
  7. 2019・20 年度選挙管理委員長の承認
  8. 旅費規程の改定
  9. 出版委員会関連議題
  10. 男女共同参画・若手支援関連議題
  11. 学生発表賞関連業務委託費について
  12. 国際関連委員会議題
  13. 生物物理サブグループについて
  14. 理事会資料の開示について
  15. 名誉会員の推薦について
  16. 2020 年度年会会員総会シンポジウムについて
- その他

## 定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・原田慶恵氏より定足数の報告があった。

理事総数 17 名のうち、出席者 14 名により過半数を超えた。

## 報告事項:

### 1. 2019 年度年会報告

永井健治氏より、2019 年度年会について報告があった。

- アンケート:約 200 名から回答があった(非参加者含む)。年会の満足度は高かったものの、会場については 4 割が「悪い」と回答している。

法被:年会中に学生アルバイトが着ていた法被は回収して、希望者に配布した。

SNS:年会中は年会実行委員がパスワードを共有して Twitter に投稿を行った。

写真:年会中に撮影された写真(研究内容が見えないようにフォトショップで加工済み、高校生に掲載可否確認済み)のフォトアルバムを作成した。

上記の詳細は、第 57 回年会ウェブサイトに掲載されている。

- 年会に参加した 5~60 社の企業に開催御礼と題した書面を送付した。
- 収支は 5,186,566 円の黒字(46,213,888 円の収入に対し、41,027,322 円の支出)だった。
- 参加費収入は例年並みであったが、BP セミナー参加登録費と年会展示広告料が例年よりそれぞれ 3 倍程度増加したため、例年の倍近い収入を得られた。企業側への意見聴取を行い、継続して企業からの収入を得ることが重要であるという意見が出された。
- イベント中止保険に加入した旨が報告された。今後はどの程度の保険に加入するか基準を決定するのが望ましいとの意見があった。
- カレントピックスとシンポジウムの間で二重発表が起ころうになったことが報告された。新しい企画がある場合には重複制限について明確にしておくのがよいという意見に対し、年会担当の理事との連携で対応可能との意見が出た。

### 2. 2020 年度年会準備状況

佐甲靖志氏より、2020 年 9 月 16 日~18 日に開催される 2020 年度年会の準備状況について報告があった。

- ウェブページが公開された旨が報告された。シンポジウムの募集はすでに始まっている。
- 年会の準備スケジュールが報告された。4 月 14 日に事前参加登録が始まり、5 月 22 日に演題投稿が締め切られ、6 月 12 日に事前参加登録が締め切られる。
- 市民講演会は行わず、高校生および高校の教員を対象としたシンポジウムを企画したいという旨が提案され、承認された。
- 高校生への広報活動について、関東各県の教育委員会に資料を送り、お茶の水大学における高校生による研究発表の場でも広報を行う予定である旨が報告された。
- 懇親会の準備を進めているところで、ランチオンセミナーの弁当のほかに弁当とキッチンカー

の準備も進めている(会場の周りにご飯を食べる場所があまりない)。

- ・ 会場の建築は順調に進んでおり、4月中旬には運営がスタートするとの旨が報告された。
- ・ 宿泊について旅行業者と交渉に入る段にある旨が報告された。

### 3. 2021年度年会準備状況

- ・ 原田慶恵氏より、2021年度年会(年会長:高橋聡氏)が仙台で2021年11月25日から27日にわたって仙台国際センターで開催される旨が報告された。
- ・ 2019年11月28日に16人の主要メンバーによって第1回年会実行委員会が開催された。委員会では、年会をどのようなスタイルで実施するか、また予算や会場について話し合われた旨が報告された。

### 4. 出版委員会報告

小松崎民樹氏より、2019年度第3回出版委員会についての報告があった。

#### <会誌編集委員会>

- ・ 1月から新体制がスタートする。

#### <欧文誌編集委員会>

- ・ 2019年12月7日に新旧合同編集委員会が開催され、新編集委員の紹介が行われた旨が報告された。
- ・ 欧文誌編集室から50篇の論文(うち38編は郷信広氏の傘寿記念号への投稿)が出版される旨が報告された。科研費申請時の目標を達成した。
- ・ 欧文誌編集室の過去10年間の取り組みとして、インパクトファクターの取得(2以上を目指すことが科研費の申請書にも記載されている)に向けたウェブオブサイエンスへの掲載の実現やDOAJへの登録などが紹介された。また、査読者2名のうち原則として1人は外国人にするという目標については現状達成されていない(日本にいる外国人ポスドク等を査読者にアサインすることで達成可能か?)旨が報告された。また、引用数は順調に増えている旨が報告された。
- ・ 科研費の執行状況について、10月21日に原田会長室に日本学術振興会の担当事務員が訪問し実施検査を執り行った旨が報告された。
- ・ 宮崎年会配布用欧文誌フライヤーが1,000枚作成され420枚残存しており、欧文誌クリアファイルが2,000枚作成され1,050枚残存している旨が報告された。

#### <ウェブサイト編集委員会>

- ・ 中高生向けの「生物物理について」ページのリニューアルのための意匠作成中。

### 5. 男女共同参画・若手委員会報告

須藤雄気氏より、2019年度第3回男女共同参画・若手委員会についての報告があった。

- ・ 2019年度年会の若手奨励賞・若手招待講演賞・学生発表賞の報告が邦文誌に掲載される。若手奨励賞の応募数が減少傾向にある。また、学生発表賞はポスター発表と口頭発表で応募

数に差(口頭発表だと少ない)がある旨が報告された。

- 2020 年度年会における男女共同参画・若手シンポジウムの企画(キャリア支援がテーマ候補)について男女共同参画・若手委員会において議論が交わされた旨が報告された。
- 男女共同参画学協会連絡会に柳澤実穂氏に出席してもらい、関西科学塾にクリアファイルと一家に1枚ポスターを提供することが決定した旨が報告された。

#### 6. 生物科学学会連合連絡会報告

村田武士氏より、生科連定例会議・公開シンポジウムに関する報告があった。

- 生物科学学会連合は、高校生物の暗記しなければならない単語を3,000語から500語まで絞る方針であり、提言文が提出された旨が報告された。
- 生科連シンポジウムにおいて、高校教員によるアクティブラーニングが話題に上った旨が報告された。
- 地球生物プロジェクト(写真を撮ったものにつぶやきをつけたものを審査・表彰する)が行われ、300を超える応募があった旨が報告された。

#### 7. 国際関連委員会報告

西坂崇之氏より、国際関連委員会に関する報告があった。

- ソウル1分子会議が開催された旨が報告された。また、演者として参加した飯野亮太氏より、会議中ではLUMICS社の企業展示も行われるなど、盛況に開催された旨が報告された。
- 第57回年会において二国間(日本・オーストラリアおよび日本・台湾)ジョイントシンポジウムが開催された旨が報告された。来年のジョイントシンポジウム(日本・台湾)は台湾で行われ、日本からは塚崎智也氏、小嶋誠司氏、西澤知宏氏が参加予定である。
- 2019年度年会においてジョイントシンポジウムの参加者でウェルカムパーティーを開催(学会の予算)した旨が報告された。また、招待講演者の招聘に経費(宿泊・国内交通費)が計上された旨が報告された。
- 村田武士氏より、台湾でジョイントシンポジウムが開催された際に頂戴した講演料(40,500円)を、日本に招聘した講演者の飲食費に充てるために会長室に渡した旨が報告された。
- 西坂氏より、2019年度年会中に第1回IAC会議が行われた旨が報告された。会議では、IBC2023会頭として野地博行氏が選出され、教育プログラム(海外の若い研究者日本の研究機関で技術を身につけさせるワークショップ等)を充実させていくこと、また、二国間ジョイントシンポジウムのテンプレート化が議論された。
- 2020年度年会において二国間(日本・インドおよび日本・台湾)ジョイントシンポジウムが開催される旨が報告された。オーガナイザーの候補者として永井健治氏、坂内博子氏、渡邊力也氏にすでに内諾を得ている。
- Asian Biophysics Associationとの関りを強化すべく、西坂氏が会計に就任した旨が報告された。

## 8. BREV Special Issue について

小松崎民樹氏より、Biophysical Review の特集号(日本生物物理学会特集)のリードエディターを小松崎氏が務めることになった旨が報告された。また、特集号では2019年度年会のセッションのスピーカーやチェアマンにコメントリまたはレビューを書いてもらう(投稿締め切りは1/15/2020)方針である旨が報告された。

## 9. 啓発活動報告

古寺哲幸氏より、これまでの小・中・高等学校への講師派遣の実績(7件が終了)が報告された。講師派遣について小・中・高等学校への周知を再び行う必要があるのではないかとの意見が出された。

## 10. 賞・助成金推薦委員会報告

須藤雄気氏より、学会から藤原賞に2名を推薦した旨が報告された。また、各賞への推薦依頼期間・選考期間の年間スケジュールが提示された。

## 11. 地区報告

原田慶恵氏より、九州支部において高校生の生物物理橋渡し検討会を行われた旨が報告された。また、支部だよりにて活動内容が報告された旨が報告された。さらに、会計報告が行われ、1,325,052円の黒字であることが報告された。

### 審議事項:

#### 1. 会誌編集委員会規約の改定

小松崎民樹氏より、邦文誌の副編集委員長を1名制から2名制に変更し、2名のうち1名は欧文誌の編集委員を兼任する(どちらの会誌副編集委員長が欧文誌編集委員を兼任するかは、会誌編集委員会で決定し欧文誌編集委員会に推薦する)ことができるように会誌編集委員会規程を改定することが提案され、承認された。

#### 2. 2020・21年会誌編集委員・編集副委員長の承認

小松崎民樹氏より、2020-2021年度会誌編集委員候補として、政池知子氏、中林孝和氏、小嶋誠司氏、平島剛志氏、前田裕介氏、塚崎智也氏、松木均氏の6人が出版委員会で選出された旨が報告され、承認された。また、会誌副編集委員長の候補として松岡里美氏が高橋聡氏によって推薦された旨が報告され、承認された。

#### 3. 次期BPPB編集委員の承認

小松崎民樹氏より、前回の理事会で選任された各氏に就任の打診を行い、全員から承諾を得ら

れ、委員が決定したことが確認された。

#### 4. 2020 年分野別専門委員の承認

小松崎民樹氏より、年会登録時に学会員から提案された新分野名(「クロマチン・染色体」、「鞭毛・繊毛運動」、「オプトジェネティクス」、「プロテオミクス」)を分野別専門委員の新分野に加えることが提案され、承認された。新分野名「表現型の進化」については、議論の結果、「システム定量生物学」と変更して新分野に加えることが承認された。

#### 5. 2020 年度事業計画(案)

原田慶恵氏より、2020 年度の事業計画について、邦分誌 60 巻・61 巻の発行、欧文誌 17 巻・18 巻の発行、2020-2022 年度年会の開催準備、男女共同参画・若手支援活動、研究業績と技術的実践の奨励と表彰、関連学術団体との連携および協力、国際的な研究協力の推進、普及啓発活動(『大沢流てづくり統計力学』の英語版出版事業を含む)、理事会・定時社員総会・臨時社員総会・委員会等(国際関係委員会を含む)を行う旨の説明があり、承認された。追加事項があれば随時提案する。引続き審議を行い、4 月の理事会で確定する。

#### 6. 2020 年度予算(原案)

- ・ 秋山修志氏より、2020 年度の事業計画に基づく 2020 年度予算について、確定までの流れが説明された。4 月の理事会における最終審議で予算を確定し、6 月の提示社員総会で予算を報告する。
- ・ 2019 年度の予算と 2020 年度の予算で大きく変更がある点について説明された。
- ・ 引き続き審議を行い、4 月の理事会で確定する。

#### 7. 2019・20 年度選挙管理委員長の承認

原田慶恵氏より、2021-2020 年度会長意向聴取選挙、代議員選挙、理事候補選挙の選挙管理委員長として上田昌宏氏を指名(内諾あり)した旨の説明があり、選出が承認された。

#### 8. 旅費規程の改定

小松崎民樹氏より、日本生物物理学会旅費規程第3条として文言を追加することが提案され、承認された。

#### 9. 出版委員会関連議題

<欧文誌編集委員会>

- ・ 中村春木氏より、欧文誌編集委員会における編集委員の役割分担について報告があった。
- ・ 欧文誌編集委員会規約を下記の点において変更する旨が提案され、承認された。
  - 編集委員会は、委員長 1 名、副委員長 3 名、委員 10 名からなる。

- 委員は2年に1度4名を改選する。
- ABA 担当委員と邦文誌副編集委員長の任期はそれぞれの委員就任から任期終了までとする。
- 委員長の新任は妨げないが再任は1回のみとする。
- ・ 欧文誌の Instruction for authors を変更する旨が提案され、承認された。また、Editor の所属を変更する余地がある旨も報告された。
- ・ 来期の欧文誌出版費用について、中西印刷とほかの出版社に出版費用についての見積もりを取り、編集委員会として中西印刷(株)に依頼するのが適切であるという判断をした旨が報告され、承認された。
- ・ 小松崎民樹氏より、欧文誌「郷信広氏傘寿特集号」の冊子を200部印刷する(当初案は150部で前回承認済み)という旨が提案され、承認された。

#### ＜ウェブサイト編集委員会＞

小松崎民樹氏より、2020-2022年ウェブサイト編集委員候補として、小嶋誠司氏、森本雄祐氏、古賀信康氏が選出され、出版委員会で承認された旨が報告され、承認された。

#### 10. 男女若手共同参画委員会に関する審議

- ・ 須藤雄気氏より、2020年度年会において約80万円(弁当代等)の予算で男女若手共同参画シンポジウムを開催する旨が提案され、承認された。
- ・ 2020年度年会においてキャリア支援関連企画(アカリクに所属する博士号を取得した方に個別相談等を行ってもらう)を開催する旨が提案され、承認された。

#### 11. 学生発表賞関連業務委託費について

須藤雄気氏より、2020年度年会における学生発表賞関連業務として事務委託費を10万円増額し、過去3年分の費用30万5千円を2020年度予算に計上する旨が提案され、承認された。

#### 12. 国際関連委員会に関する審議

西坂崇之氏より、イグアスで行われるIBCへの日本人一般参加者に対して2017年度にエジンバラで行われたIBCへの参加者と同規模(1人当たり50,000円で9名をサポート)の旅費のサポートを行う旨が提案され、承認された。

#### 13. サブグループに関する審議

- ・ 須藤雄気氏より、サブグループ制度構築について背景が説明された。
- ・ サブグループ制度構築にともなって、グループ経費の最大100万円(20件×5万円)とウェブ更新費用の10万円を合わせた110万円を経費として計上することが提案された。
- ・ 1回目の申請は1月末に締め切り、2月の理事会で承認する(年会前のサテライトミーティングに利用することが可能になる)ことが提案されたが、議論の結果、来年度からの実施は見送るこ



ととなった。サブグループ制度をスタートすることは承認され、詳細については継続審議となった。

#### 14. 理事会資料の開示に関する審議

小松崎民樹氏より原田慶恵氏に理事会資料の開示についての問い合わせがあったが、これまで、理事会資料の開示のルールは決まっていなかったため、審議の結果、原則的には理事会の資料は開示しないこと、開示が必要な場合は個別に生物物理学会長の許可をとることとすることが、承認された。

#### 15. 名誉会員の推薦に関する審議

原田慶恵氏より、今年度は規定によって自動的に名誉会員の授与の対象になる方はいないが、理事が強く推す候補者がいれば手続きが可能である旨が説明された。その場で推薦はなく、審議は行われなかった。

#### 16. 2020 年度年会における会員総会および 60 周年記念シンポジウムのテーマに関する審議

原田慶恵氏より、2020 年度年会における会員総会シンポジウムおよび 60 周年記念シンポジウムのテーマをどうするかについて提議があり、議論がなされた。邦文誌および欧文誌でも、60 周年記念の企画をやるべきであるとの意見が出された。また、ブルーボックスから 60 周年記念で本を出版しようとしている旨が報告された。

### 連絡事項:

#### 1. 次回理事会日程について(原田)

2019 年度第 4 理事会

日時:2020 年 2 月 8 日(土)12:30-17:00(2 月 1 日に変更)

場所:テレビ会議

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 16:40 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2019 年 12 月 14 日

代表理事	原 田 慶 恵 (印)
監事	笹 井 理 生 (印)
監事	豊 島 陽 子 (印)